

2018年の台風による停電被害と今後の対応について

2019年 1月21日

2018年の21号台風および24号台風の本州上陸・通過に伴い、長野県内をはじめ中部電力管内では広範囲の停電被害が発生した。

本説明では、台風による停電被害を振り返り、今後の対応について概要を述べる。

振り返り：

2018年 台風による停電被害の概要

今後の対応：

お客さまへの情報発信の改善

自治体との情報共有・連携の強化

振り返り：2018年 台風による停電被害の概要

台風 21号	台風 24号
<ul style="list-style-type: none"> ・9月4日正午ころ、徳島県南部に上陸 ・9月4日夕方～7日夜にかけて停電が発生 	<ul style="list-style-type: none"> ・9月30日20時ころ、和歌山県に上陸 ・9月30日夜～10月4日夕方にかけて停電発生
<p>(長野県内最大)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月4日 20時 <u>24,490戸</u> <p>(長野県内全送時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月7日 20時50分 最長:3日と6時間強 <p>主な停電地域：松本市・茅野市・諏訪郡 木曾郡・下伊那郡</p> <p>< 中部電力全体 > 最大：695,320戸 延べ戸数：847,840戸</p>	<p>(長野県内最大)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月1日 4時 <u>25,780戸</u> <p>(長野県内全送時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月4日 16時 最長:3日と21時間弱 <p>主な停電地域：茅野市・諏訪郡・下伊那郡</p> <p>< 中部電力全体 > 最大：1,022,710戸 延べ戸数：1,191,310戸</p>
<p>長野県内で、台風被害により最大時20,000戸を超える停電は過去10年間で記録無し。 至近最大：2017年21号台風 17,880戸</p> <p>中部電力全体で、延べ 800千戸を超える停電は'90、'98に次いで3回目。 平成30年間で3番目に多い被害となった。</p>	<p>台風被害による停電で、最大25,000戸を超えるのは平成に入り初めて。</p> <p>中部電力全体で、延べ1,191千戸にのぼる停電は、過去最大。 平成30年間で最も大きい被害となった。</p>

振り返り：2018年 台風による停電被害の概要



停電の原因のほとんどは、強風に伴う倒木
直径40cmを超える大木の倒木も多く発生

振り返り：2018年 台風による停電被害の概要



強風による倒木で、電線の断線や電柱の倒壊が発生
道路の通行が寸断され、進入に時間を要した

振り返り：主要な課題・問題点の抽出

1 設備復旧の体制

被害状況の把握

倒木・土砂崩れ等に伴い、**道路の通行が寸断されたため、進入に時間を要した。**
その結果、**故障箇所の巡視が難航し、設備被害状況の把握に手間取った。**

2 お客さまへの情報発信

情報発信の 複線化

多数の入電によりコールセンターに電話がつかない状態が続いた。
電話対応だけでは情報提供に限界があった。

停電情報 ホームページ

停電情報ホームページの内容がわかりにくい。（停電地域、復旧状況など）

外国人向け対応

災害時の情報発信は日本語に限られ、外国人向けに外国語の情報発信が必要。

3 自治体等との情報共有・連携

自治体との連携

相互の連絡体制は承知していたが、**非常時対応における更なる連携強化が必要。**

生活インフラ需要

生活インフラ需要（通信・水道・避難所等）に係る状況の把握が不十分であった。

倒木の未然防止

事前伐採を実施した箇所は台風被害を受けなかった。
自治体と連携したライフライン保全対策事業（事前伐採）が非常に有効。

- ・倒木処理や道路の寸断により、**停電が長期化した**とともに、
- ・停電地域や復旧状況に係る**情報発信の不足**が生じた。



結果：お客さまや自治体の皆さまに不便と不安を与えた

情報を適時・的確に発信するシステムの構築・改修
停電の未然防止や早期復旧に向けた、自治体との連携強化



課題への対応：

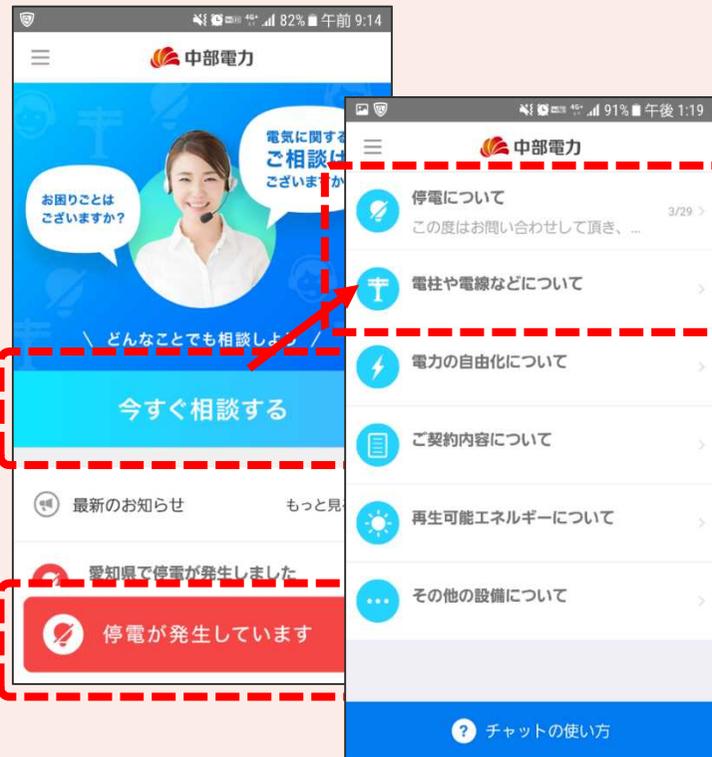
お客さまへの情報発信の改善
自治体等との情報共有・連携の強化

お客さまへの情報発信の改善：停電情報発信内容の改善

課題	対策の内容・方向性	導入状況
<p>情報発信の複線化</p>	<p>・新たな情報発信アプリの導入</p>	<p>2019年 1月 導入済</p>
<p>停電情報ホームページの改修</p>	<p>・停電情報の地図表示機能を詳細化</p>	<p>2019年 3月 予定</p>
	<p>・『復旧状況』項目を新規追加 (『設備確認中』・『工事手配中』・『工事中』 など)</p>	<p>2019年 1月 改修済</p>
<p>外国人向けの情報発信</p>	<p>・ホームページやSNS (twitter、 Facebook) で 停電情報、注意喚起等を複数の外国言語で発信</p>	<p>2018年12月 導入済 災害時のみ 発信</p>

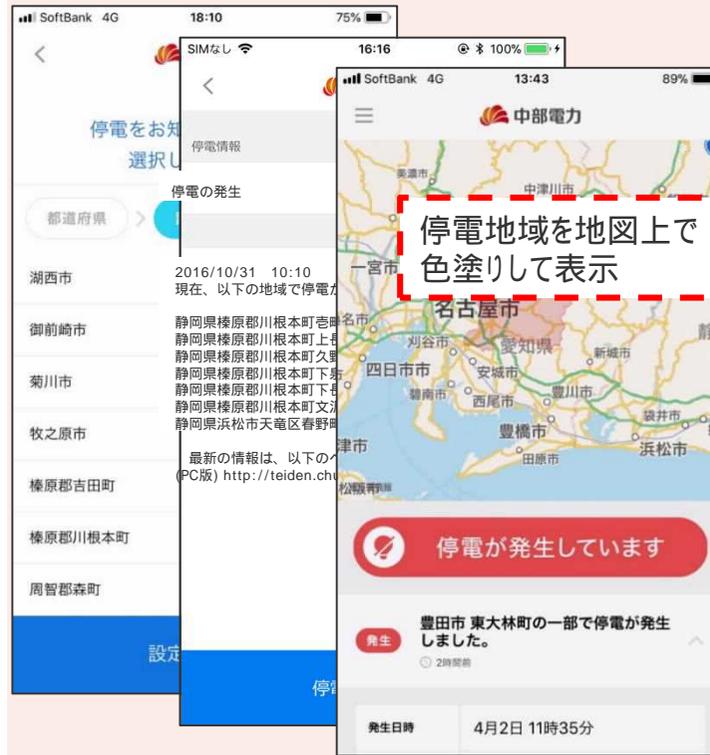
お客さまへの情報発信の改善：情報発信アプリの導入

TOP画面



- 選択地域で停電が発生している場合、「停電が発生しています」を表示
- 「今すぐ相談する」でチャット画面へ遷移

停電情報のプッシュ通知



- 選択地域（市区町村）の停電情報をプッシュ通知

2019/4から契約単位で通知

チャットで問い合わせ



- イラスト・画像で分かりやすく説明

2019/2から画像送信機能を追加

AppStore・GooglePlayから「中部 でんきの窓口」で検索、アプリ（無料）をダウンロードのうえ、地域選択等の初期設定を行うことで利用可能

長野県内では、降雪等による倒木で停電が多く発生する。
雪害時の復旧には道路除雪が不可欠であり、自治体との連携が特に重要となる。

至近5年間で、3日以上停電が継続した雪害による停電

停電発生日	停電被害の概要	
2014.12.16	延べ 16,000戸	長野市西部を中心に停電が発生 最長：長野市七二会の一部 95時間(3日と23時間)
2016. 1.29	延べ 9,000戸	松本市を中心に停電が発生 最長：松本市安曇の一部 96時間(4日)

2016年1月雪害時における自治体との連携



自治体による除雪作業に同調し
倒木処理を当社も連携して実施



電線への倒木箇所は、
当社で倒木処理後、自治体にて
除雪作業を行い道路を啓開

台風、雪害等による災害が発生した(発生する恐れがある)場合に、各自治体と当社が円滑な相互連携・協力を図ることを目的に、協議を進めている。

災害発生時の相互協力

- ・停電情報の共有等、密な連携の確立
- ・自治体の活動拠点への電力供給
- ・道路の倒木処理、除雪等の道路啓開

電力供給施設に関する事前伐採

- ・倒木の恐れがある樹木の事前伐採

災害発生時における敷地および施設の提供

- ・復旧活動の拠点として、自治体が所有する施設の提供

県内 25 の自治体と相互協力協定を締結 (2018.12月末 現在)

上水内郡小川村と協調して
「事前伐採」を実施 (2018年2月)

当社は
電線に接近
している箇所の
伐採を実施

小川村は、伐採と伐採後の処理を実施

台風・雪害等の災害に的確に対応するため、**たゆまぬ技術研鑽**と**不断の備え**に加え、以下の施策を強化し、全力で、早期復旧に取り組みます。

中部電力の取り組み：

- ・情報アプリの広報やホームページの改修を進め、
わかりやすい情報発信に努めます。
- ・自治体との情報共有により、**適切な連携**に努めます。

中部電力からのお願い：

- ・災害への備え、発災時の対応においては、自治体との連携が不可欠です。このため、**相互協力協定の締結**をお願いします。
- ・停電の未然防止には事前の伐採が効果的なため、**ライフライン保全のための倒木対策事業**における具体的な打合せをお願いします。

